



2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ  
**世界に希望を生み出そう**  
**CREATE HOPE in the WORLD**

写真提供:池之上 誠会員

**Rotary**  **倉敷南ロータリークラブ**  
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961  
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2941 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2941/2023. 10. 13

Guest 近重 博義 様 (楯築ルネッサンス協議会 事務局) Visitor なし

出席 会員数 59 名 (うち出席規定免除者 16 名@2 名@14 名)

10/13 の出席率 74. 47% (出席者 35 名、内@4 名 )

欠席 浜崎、池之上、三宅(典)、中川、沼本、小田、滝川、渡辺(英)、山本(英)、  
山本(真)、横田、大段、各会員 (12 名)

#### ●土井会長

・今日も快晴でほんと秋晴れで気持ちよい天気です。寒暖差が厳しいので、体調の管理には注意していただければと思います。10/8 に新見 RC 創立 50 周年式典祝賀会に横道副幹事と参加してまいりました。倉敷南はスポンサークラブという事で、主賓席に座らせていただき、緊張してした次第です。10 年ちよつと経った頃から、クラブの存続が危機になりはじめ、それを乗り越えたのは、例会を周知させる、そして会員同士の親睦を深めていくことに務め、さらに、地域に根差した奉仕活動や青少年育成へ力を入れられたそうです。何といっても料理がすごかった。A5 級のお肉のしゃぶしゃぶ、お皿に盛られたステーキこれはうまかった。うまいという一言かな。会長と隣の席になり、千屋牛共同例会を開催しようという提案を受けました。またこちら側としては瀬戸内の海の幸例会を企画するという事でまた新見とも交流を持っても良いのではないかなと思います。

・年の三分の一が過ぎましたが、更にロータリー活動を充実していただければと思います。

#### ●幹事報告(山本幹事)

・榊原地区ガバナールレクト事務所より、R 財団委員長研修会のご案内、他来信 7 件

・先週の理事役員会報告:会員増強情報について共有いただきました。その他として、和田一朗会員が 10/1 より出席規程適用免除者となります。そして、例会変更、例会取り止め日があります。11/24 は例会取りやめ、12/1 は職場例会の為会場の変更、12/22 が 12/19 にクリスマス例会に変更。12/29 と 1/5 は取りやめ、1/26 が 1/27 の OB 会に変更。

●親睦委員会(三宅委員長):ゴルフ親睦会の次回開催を 12/9 から 1/13 に変更します。

●スマイル報告(石田副 S.A.A)

- ・土井会長、浅見副会長、山本(由)幹事:本日の近重様の卓話を楽しみにしております。
- ・安藤会員・青井会員:近重さんの卓話を歓迎します。本日はよろしくお願ひします。
- ・プログラム委員会(流田委員長・和田(務)会員・亀岡会員・石田会員):本日の卓話講師、近重博義様の卓話を歓迎いたします。非常に興味深いお話を楽しみにしております。
- ・馬場会員:昨年米山記念奨学生だったリー、シューチンさんのお世話をいただいた青井様と現在の勤務先のビックボスこと山本様に感謝いたします。
- ・山本(由)幹事:5/8に松江で開催されたオールロータリーテニス大会に出場。結果は20組中16位と振るいませんでしたが、2690地区のテニス愛好家と楽しくプレーができました。
- ・寫田(晴)会員:妻の誕生日にお花をありがとうございました。
- ・和田(務)会員:妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。

●プログラム卓話「古代三都物語 卑弥呼はここ倉敷の出身か? 倭国誕生に果たした古備の役割とは?」 楯築ルネッサンス協議会事務局 近藤 博義 様

- ・卑弥呼は初代王が女王だったという日本は歴史を持っています。それがなぜ倉敷出身なのかというお話をさせていただきます。邪馬台国女王卑弥呼は中国の歴史書に書いてありますが日本の歴史書には書いていないので、日本の歴史の最大の謎とされています。
- ・三国志の歴史書の中で2,000文字にわたって倭国の事が書かれていました。そのなかで注目すべきは、弥生時代に戦争で国々が分かれていたのを女王中心に国がまとまったそうだという事が書かれています。その名前を卑弥呼というということで、中国の人にとっても女性で国がまとまって凄いな、不思議だなという見方をしていたと思われます。2世紀後半に戦争ばかりしていたが、卑弥呼が喜怒を扱い人々の心を支配していて、高齢であり夫を持たない、弟がいて国の政治を補佐していたなどいろんなことが書かれています。
- ・楯築遺跡は古墳の形をしておらず双方中円形の形をしています。弥生時代の最末期のもので、古墳時代に入ってできたものを古墳と言いますが、それ以前にあるものを区別するために墳丘墓を言います。弥生時代のものは、築墳丘墓(楯築弥生墳丘墓)といいます。全長で80m超あって、弥生時代の後半に王の墓ができてくる中で最大のものです。
- ・日本中の大きな古墳に何千何万と置かれた埴輪は円筒埴輪は倉敷の楯築で出てきた立坂型特殊器台が元であったということが研究の結果発表されています。土器がなぜそんなに大事な役割をすることになったのかはよく分かりませんが、その時代の各地でお祭りに使われていた道具の分布です。銅鐸と呼ばれる青銅器でできたものは関西地区中心にかなりの広さで村の祭りに使われていました。分かれていたのが、この後銅鐸も銅鉦も使われなくなって全てが特殊器台から発展した埴輪に変わっていくという事です。倉敷エリアは日本が誕生した最も大きなカギを握っている。そこの祭主王が国の女王になったという論です。

例会プログラム予定: 2023年10月20日(金)卓話 イニシエーションスピーチ  
小野田久彦会員 / 2023年10月27日(金)卓話 「世界ポリオデーに因んで」  
松本祐二様 (RI 第2690地区パストガバナー/益田西 RC)